

令和5年度 石岡市立小桜小学校グランドデザイン

<本県教育の目標>

- ◎ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
 - ◎じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
 - ◎郷土を愛し協力しあう心を育てる
- <基本理念>
「活力があり、県民が日本一幸せな県」

<自律した社会人>

適切に依存しながら、自分で考え、判断、決定、行動できる人

学校教育目標

豊かな心を持ち、たくましく生きる児童の育成

<市学校教育目標>

- 一人一人の学力の向上を図る
- たくましい心と体の育成を図る
- つよい意思と豊かな情操を育てる
- 郷土を愛し協力しあう心の育成を図る

<基本目標>

「ふるさとに学び 夢にはばらく 輝くひとづくりのまち」

学校経営の重点(組織目標)

自ら判断し、主体的に行動できる児童の育成

自他のよさに気付く力・自分で判断し決める力・自分から動く力・やり直す力

- (1)課題解決型の教育活動を展開し、多様な考え方に触れながら課題解決力を身に付ける教育を推進する
- (2)自己実現を目指す自主的・自律的な態度を育てる教育を推進する
- (3)自己決定したことに挑戦したり、貢献したりする経験をとおり、自信をはぐむ教育を推進する
- (4)信頼関係と温かさを基盤とした、児童の心情に寄り添う積極的・開発的な生徒指導を推進する

<目指す学校像>

- 家庭や地域と連携し、信頼される学校
- 「私が」ではなく、「私たちが」楽しい学校
- 驚きや感動を伴う教育活動を展開する学校
- 児童が元来もっている好奇心や向上心を引き出す「タイ」が飛び交う学校

<目指す児童像>

- 感じる心を持ち、気付いて行動できる児童
- 相手の話に耳を傾けることができる児童
- 相手意識をもって自分の考えを伝えることができる児童
- 自分の可能性を信じ、挑戦し続ける児童

<目指す教師像>

- 話をじっくり聴ける教師
- 児童の未来を見つめることができる教師
- 温かさ(甘くない)と厳しさ(冷たくない)を併せもつ教師
- 学び続けることができる教師

知 ~確かな学力の育成~

- ◎主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業づくり
 - ・問いを生む教材との出会わせ方の工夫
 - ・自分の立場を明確にした上でのペア・グループ活動の充実
(伝える・尋ねる・聴き合うことにより、考えを広げ・深める。)
 - ・相手意識・目的意識をもたせた表現活動の充実
 - ・分からないさを共有して協働的に解決する場の設定
 - ・真の理解を促すアウトプットする場の設定
- ◎個別最適化した学びを実現する学習環境づくり
 - ・特別支援教育の視点に立った授業づくり
 - ・学習の個別化(時間や方法)・学習の個性化(興味や関心)に対応するための一人一台端末の活用
 - ・学習定着度を振り返り、内容を自己調整・自己決定して行う自主学習の推進

<達成目標>

- 自分の考えを持ち、学習に取り組んでいる。 85%
- 「分からない。」「教えて。」が言える。 90%
- 様々な表現方法を知り、積極的にアウトプットしようとしている。 85%

徳 ~豊かな心の育成~

- ◎感動を伴う学びの場の充実
 - ・自分たちで課題を見つけ、改善策を話し合い実践していくPDCAサイクルを取り入れた学級活動・委員会活動の充実
 - ・頼り、頼られる関係の中から生まれる絆を深める縦割り班活動の充実
 - ・図書や新聞の活用による、様々な考えに触れ感性を磨く機会の充実
 - ・SDGsの視点に立った、家庭・学校・地域・日本・世界に目を向ける教育活動の充実
 - ・地域の人材を生かした環境教育の充実
- ◎道徳教育と人権を重視した教育の充実
 - ・「考え、議論する道徳」への質的転換の推進
 - ・自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深める道徳の授業の充実
 - ・人権尊重意識の高揚をねらいとした、デジタルシチズンシップ教育、いじめ防止教育等の充実

<達成目標>

- 年間50冊以上の本を読んでいる。 80%
- 主体的に奉仕活動を行っている。 85%
- 自他の良いところに気付くことができる。 90%

体 ~健やかな体の育成~

- ◎たくましい心身を育む場の充実
 - ・運動への親しみを高め、運動量を確保する体育授業の充実
 - ・育てたい力を明確にした体育的行事の年間を通した実施
 - ・業間休み・昼休みの外遊びの奨励
 - ・学級や縦割り班で外遊びを企画し、実施する場の設定
 - ・たくましい心を育てるための、挑戦を繰り返すことができる場の設定
- ◎健やかな心身を育む場の充実
 - ・児童の目線による安全点検の実施
 - ・薬物乱用防止教室、性教育等の推進
 - ・危険予測・危機回避能力を高めるための避難訓練の充実
 - ・栄養教諭による食に関する指導の充実
 - ・養護教諭による健康教室の充実
 - ・家庭との連携を図るための、保健だより等の定期的な発行
 - ・メディアと上手に付き合おうタイムの設置

<達成目標>

- 休み時間には積極的に外遊びをしている。 90%
- 苦手なことにも挑戦している。 90%
- メディア使用時のルールを家庭でつくっている。 100%

【家庭・地域との連携】

- 「学校だより」「保健だより」等の発行や「学校ホームページ」による情報発信並びに「学校評価」「連絡帳」等による情報収集により、学校を推進する。
- 小桜地区公民館や青少年を育てる石岡市民の会、地元社会教育団体と連携し、地域に育てられ、地域に貢献する児童を育てる。

【教職員の資質・能力向上】

- 学習の個別化・個性化を図るため、必要に応じて端末を活用させるとともに、デジタルシチズンシップ教育を推進する。
- ワークライフバランスをとりながら児童と向き合う時間を生み出すための働き方を推進する。日々の超過勤務時間が2時間以内になるよう業務の効率化を図る。
- 信頼をベースとした教育活動の展開と、そのためのコンプライアンス意識の高揚を図る。